

平成26年度 第4回 平塚市図書館協議会 会議記録 【要旨】

開催日時	平成27年3月26日(木) 13時58分～15時38分
開催場所	平塚市中央図書館 3階ホール
出席者	委員 葛西 裕美子 会長 諸山 朝子 副会長 村山 真由美 委員 加藤 利雄 委員 大河原 将太 委員 小島 明子 委員 事務局 後藤信幸 社会教育部長 見留俊也 中央図書館長 丸島隆雄 北図書館長 脇孝行 西図書館長 富田和博 南図書館長 所雅人 管理担当長 菊坂伸江 奉仕担当長 山田剛弘 管理担当主管
傍聴人	1名

会議の概要

1 あいさつ 葛西裕美子会長

2 議 事

(1) 事務局からの報告事項

【事務局】 資料1-1「平成27年度雑誌スポンサーの募集状況」、資料1-2「図書館歳入確保に向けた関係機関等への働きかけ」を基に説明を行った。

【質疑】 特になし

【会長】 自動販売機からの歳入が大きいと感じた。

【事務局】 資料2「平塚市図書館システムの更新」を基に説明を行った。

【質疑】 特になし

【会長】 方針のとおりすすめていただきたい。

【事務局】 資料3-1「平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)素案パブリックコメント実施報告書」、資料3-2「平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)」を基に説明を行った。

【委員】 計画書の読書活動につながる基金で他市の取組が例示されているが、平塚市の市民活動センターのたすけあい文庫は、毎年数十万円の額をファンドに繰り入れするなど成果が出ている。こうした本市の取組を例示すべきだったと考える。

【事務局】 計画書には反映できないが、今後行う年次報告などでは、同様の例示の紹介を予定している。そこで紹介することとしたい。

【事務局】 資料4-1「平成27年度平塚市図書館予算」を基に説明を行った。

【委員】 建築基準法を基に西図書館の外壁の点検を行うと説明があったが、点検によりどこまで建物の劣化が分かるのか。

【事務局】 先日、中央図書館のこども室でタイルの浮きが見付かったが、建築職の職員による点検の結果で、応急措置を行った。同じような事例が西図書館でも見付き、専門家の診断が必要だという判断で予算措置をした。中央図書館で点検の様子を見たが、浮きが出ている場所は明らかに音が違う。専門家が見れば、どこをどう補修するのかまで概ね分かる。

【委員】 震災をきっかけに公共施設の安全性が問われることが多くなっている。こうした中での予算措置は一市民としても安心できる。さらに、今後も定期的に行うと聞き心強い。

【事務局】 資料4-2「平成26年度図書館事業報告」を基に説明を行った。

【委員】 写真や図表を多用して分かり易い報告書を作成していただき感謝する。

読み語りの準備や調べ物学習などで何冊かの複本を必要とする場合に、学校支援用

図書館カードで同じ本を予約して取り寄せることができない。この場合はどのような対応をしているのか。

【事務局】 図書館では複本をあまり所蔵していない。できるだけ多くの方に資料を利用していただきたいので、このカードで同じ本を何冊も借りることは想定していなかった。御質問のようなニーズは今後検討させていただくが、具体的に相談いただければ個別に対応する。

【委員】 限られた予算の中で色々と工夫をされていることは分かった。さらにアイデアを発揮してもらいたい。

【会長】 事業説明で、図書館がさまざまな機関に働きかけを行い、連携をしていることがあらためて確認できた。引き続きお願いする。

(2) 委員からの報告事項

【委員】 委員提供の資料5「平塚市図書館協議会への情報提供」を基に説明を行った。

【委員】 横浜市図書館は、横浜Fマリノスと共催でイベントを実施している。本市でも湘南ベルマーレが注目を浴びている。子ども読書活動推進計画(第三次)の新たな事業展開の中で、多様な関係機関等の連携でスポーツが一例としてあげられている。横浜市図書館のような取組を検討していただきたいのが1点。私が普段利用している駅前の市民活動センターの返却ポストは多くの返却本があり、相当利用されている。これに加え千葉市や明石市のように、書店に返却ポストを設置や、千葉市のように共催でおはなし会を実施するなど相互に連携すると成果がかなり出ると思う。すぐには難しいと思うが、書店との連携は、明石市のような平塚市と同規模の都市も実施している。検討材料になればと思い情報提供を行った。

【委員】 平塚書店協同組合と図書館との関係を伺いたい。

【事務局】 書籍を購入することはもちろんであるが、子ども読書活動推進フォーラムなどで、講師の本の販売の場を提供することはしている。ただし、千葉市のように、イベントを共催するというような関係はない。

【委員】 平塚書店協同組合は、昔に比べると活動が盛んでないという印象がある。同じ商業者として昔のようにもう少し元気になってもらいたいと思う。相互の連携を図るため意見交換をする場などは考えていないのか。

【事務局】 特に考えていないが、例えば事務局の方を通して、それぞれの要望等に対応している。今でも意見交換の部分はできていると考えている。

(3) 協議事項

【事務局】 資料6「平成25・26年度平塚市図書館協議会実施報告書(案)」を基に説明を行った。

【質疑】 特になし

【会長】 どういった検討を行ったのか一目で分かる点が良いと思う。案のとおり進めてもらいたい。

【会長】 資料7-1「次期図書館協議会委員の選出」、資料7-2「平塚市図書館協議会委員を募集します」を基に説明を行った。

【委員】 学校関係者の委員は、平成27・28年度と平成29・30年度の委員構成は、私は小学校と中学校が入れ替わることは理解しているが、全ての学校長が理解している訳ではな

いので、定例校長会などで報告した方が良いと思う。

【事務局】 教育総務課と協議が必要になると思うが、定例校長会の機会などで説明することとした。

【委員】 案は既に今の学校長の了解を得ているので、定例校長会で説明をしておけば、新任の学校長にも理解をいただけたと思う。

【その他】 後日、定例校長会の主管課である教育総務課と協議した結果、小中両校長会の会長に説明を行うことになった。

(4) その他

【事務局】 来期の第1回目の図書館協議会は、8月4日～7日を予定している。また8月17日(月)に平成27年度の平塚市子ども読書活動推進フォーラムを、中央公民館で予定している。

【会長】 最後に、社会教育部長からひとことお願いする。

【事務局】 まずは、この協議会で委員各位から数々の提案をいただき、さまざまな議案の検討をしていただいた。これらの提案を出来ることから少しずつ活かしていくことが我々の使命と思っている。

また、この協議会でも多くの時間を割いた子ども読書活動推進計画(第三次)で、図書ボランティアの負担感の解消など動き出した部分はあるが、学校図書館との連携など具体的に折り込むことができなかったことは残念だと思っている。

次期の図書館協議会では、図書館の将来像を示し、最新の市民ニーズを踏まえたサービスの向上のための案をいくつか示していかないといけないと考えている。指定管理者制度の導入や窓口委託はそのための手段の一つに過ぎないと思う。私も含め委員の多くはこの図書館協議会から離れるが、今後とも図書館に対するアドバイスをお願いしたい。

【会長】 閉会を告げた。

以上